



# しめ縄

年神様を迎えるための「しめ縄」・「しめ飾り」を販売します。  
一本一本、すべて手づくりで製作しています。  
材料の稲ワラは、しめ縄用の田んぼで育てた稲を青いうち（未成熟）に刈り取り、天日干しで乾燥させたものを使っています。なるべく清浄なワラを用意し年神様を迎えるためです。  
また、このワラは、無農薬・無化学肥料で栽培しています。

国産の  
稲ワラで  
手づくり

【受取期間】 12/29 (火)~30 (木)  
9:00~16:30

※お急ぎの場合は日程をご相談ください

【注文締切】 12/28 (月) 正午

【受渡場所】

**こんちゅう館**

(サンクチュアリセンターつきだて館)  
〒987-2224 宮城県栗原市築館字横須賀養田20-4

【注文方法】

電話またはメールでご注文ください。  
・商品番号(商品名)、数量、お名前、連絡先

【支払方法】 ※価格には消費税を含んでいます。  
現金またはPayPay(受け渡し当日にご精算)

▶商品番号 シ-1 牛蒡締 ゴボウジメ



神棚に飾るしめ縄です。モト(根元)を自分から見て右側にして飾ってください。

- ・価格：5,500円
- ・サイズ：横約80cm、縦約6cm
- 製造者/(一社)くりはらツーリズムネットワーク

▶商品番号 シ-2 御年縄 オトシナワ



玄関以外の物置等の入口の釘などの突起にヨリを開き差し込み飾ります。

- ・価格：①3本990円 ②5本1,430円
- ・サイズ：横約1.5cm、縦約80cm
- 製造者/(一社)くりはらツーリズムネットワーク

▶商品番号 シ-3 輪飾り ワカザリ



玄関に飾るしめ飾りです。輪を二重にしています。 ※柑橘はご自身で用意して飾り付け

- ・価格：2,530円
- ・サイズ：横約25cm、縦約13cm
- 製造者/(一社)くりはらツーリズムネットワーク

▶商品番号 シ-4 めがね メガネ



見通しがきく眼鏡になぞらえたしめ飾りです。玄関に飾ります。

- ・価格：5,060円
- ・サイズ：横約20cm、縦約50cm
- 製造者/(一社)くりはらツーリズムネットワーク

▶商品番号 シ-5 玉締め タマジメ



縁起の良い玉の形のしめ飾りです。玄関に飾ります。

- ・価格：5,500円
- ・サイズ：横約30cm、縦約40cm
- 製造者/(一社)くりはらツーリズムネットワーク

▶商品番号 シ-6 鳥 トリ



鳥(鶏や鶴など諸説あり)をなぞらえたしめ飾り。玄関やそれ以外にも飾れます。

- ・価格：8,800円
- ・サイズ：横約50cm、縦約60cm
- 製造者/(一社)くりはらツーリズムネットワーク

## 注連縄(しめなわ)

自然災害がおこらず豊作に恵まれ、一年を無事に過ごせるように、正月に年神様を迎えるために飾る藁文化です。  
通常の縄は右まわりですが、注連縄は左まわりで縄います。由来は諸説あります。日本では古来から左が上位(聖・神聖)、右が下位(俗・日常)とされています。  
注連縄は、ウチとソト、浄と不浄のけじめです。縄張りという言葉があるように、縄で境界を示します。注連縄がある場所は清浄な場所であることを示し、さまざまな祈りを込めて年神様を迎えます。

## 注連縄の藁

年神様を迎えるための藁は、なるべく新鮮で清潔なものを準備します。米づくりの藁を使う場合も多くありますが、あえて初がつく前に刈り取り、青いまま藁を年末まで保管しておいて使う場合もあります。

## 縄う(なう)

「より」をかけた藁を合わせることを「縄(な)う」といいます。  
ほんの数十年前の農村地域では、縄ういは誰もができる暮らしに必要なワザでした。注連縄だけではなく、日常で使う縄も藁で縄っていました。

## 飾る時期

飾る時期や片づける時期は、地域によってさまざまな由来や風習があります。  
一般的には年末に家を掃除し身を清めてから、12月28日もしくは30日に飾ります。  
29日は「苦」を連想し、31日では「一夜飾り」になるので、避ける傾向があるようです。  
一般的には「松の内」の1月7日まで飾り、「どんと祭」で焚いてもらいます。  
ただし、神棚や神社、地域や家庭の風習によっては、一年を通じて注連縄を飾る場合もあります。

## 装飾

装飾する場合は縁起物を付けます。  
▷紙垂(しで)…「神聖」や「清浄」という意味があります。紙垂は神の依代または神そのものとされています。  
▷橙(だいたい)…「代々」に通じる。また、柑橘(かん「きつ」)の発音が「吉」と似ているので、柑橘類全般が縁起物とされています。  
▷松(まつ)…一年を通して緑を絶やさないうえに「永遠の命」の象徴。樹齢千年と言われるほど寿命が長く不老長寿と結びつけられています。  
▷南天(なんてん)…「難を転じる」という言葉をもじり「魔除け」として用いられています。